

社会で活躍する卒業生

セラミック科

卒業した先輩からのメッセージ
C E R A M I C



松尾 渚 (国見中出身)
セラミック科 平成29年3月卒業

株式会社デンソー
(愛知県刈谷市)

「日進月歩」周りからいろいろな知識を吸収して、自身に腹落ちさせていく。

学生時代に私は「科」「年齢」「性別」関係なくたくさんの人と関わり、実習や校外学習などを通してコミュニケーション力を磨く事ができました。

現在は、車載機(アクセサリ等)のソフト評価の業務を行い運転中のユーザーを不安にさせないために、ユーザー観点をもちながら車載機を動かすソフトの部分の評価をしています。物を作る工程ではないため、目に見える成果は出しにくいですが機能性・操作性・見栄え等の観点から、不具合と思われる現象を抽出・修正するを繰り返しており、よりよい車作りに貢献しています。

今の職場は、賑やかでとても頼れる上司、先輩方に恵まれており、年齢様々一人ひとりの個性が強いですが、とても楽しく、学び甲斐のある毎日を過ごしています。



前田 千愛 (啓成中出身)
セラミック科 令和2年3月卒業

有田町役場
(佐賀県西松浦郡有田町)

人と人との繋がり

セラミック科では、作品制作を通して自分が思い描いたものを形にする難しさや、ものづくりの楽しさを学びました。また、体育祭ではリーダーを務め、立場に応じた行動や多面的な考え方ができるようになりました。困ったときは先生方に相談すると、親身になってご指導していただきました。

有田工業高校を卒業後は、九州交際情報ビジネス専門学校の公務員コースへ進学し、現在は有田町役場で勤務しています。住民票の発行等を行う際に心がけていることは、相手の立場になって考え、行動することです。今はまだ、目先の業務を覚え・実践することで精一杯ですが、頼れる上司・先輩方のサポートをいただきながら、日々の仕事に取り組んでいきます。



中島 賢吾 (有田中出身)
セラミック科 平成30年3月卒業

株式会社本田技術研究所
デザインセンター(埼玉県和光市)
クレイモデラーとして勤務

やりがいのある仕事

有田工業高校ではセラミック科でろくろ・絵付けなど自分で考えカタチとして創る楽しさを学びました。

現在は本田技術研究所 デザインセンター オートモービルデザイン開発室に配属され、クレイモデラーという仕事をしています。主にクレイを削り造形をしています。最近ではデータでの造形もしています。見たものを形にする難しさはありますが、日々正解のないものを追い求める楽しさを実感しています。わからないことがあっても先輩方が優しく丁寧に教えてくれて毎日充実しています。

今後は、自分が携わった車が世の中に出ることを楽しみに頑張りたいと思います。



松田 珠美 (有田中出身)
セラミック科 平成29年3月卒業

柿右衛門窯
(佐賀県西松浦郡有田町)

「ものづくり」の楽しさを学びました

私は学生時代、セラミック科に在籍し、ろくろや絵付けの実習を通してものづくりの楽しさを学びました。仕事でもこの経験を活かしたいと思い、今の会社に入社しました。伝統ある有田の街で、現在は見本(商品)となる皿を見ながら上絵付線描きをやっています。

スタッフの皆さまも年齢層が広く、良き人間関係に囲まれて日々楽しく仕事できております。

今後は、絵描きの仕事に慣れ、スムーズに仕事がこなせるように成長していきたいと思っています。



豊増 菜摘 (有田中出身)
セラミック科 令和3年3月卒業

国立大学法人佐賀大学
(佐賀県佐賀市)

たくさんの刺激がある大学生活

セラミック科でやきもの全般を学ぶなかで、さらに技術や知識を身につけ、またセラミック科の先生になりたいという思いもあったため、佐賀大学へ進学しました。

現在、大学では、新型コロナウイルスの影響でオンラインと対面の併用で授業が行われています。授業は、一年を通して彫刻や日本画、染色などたくさんの科目を学び、色んな技術や感性に触れ、また独特の個性を持った友達からたくさんの刺激を受けています。焼き物以外の学びの中から、これまでとは違った新しい視点を日々感じとっています。今後の大学生活でも、多くの先生や友達からたくさんのことを学び、更に視野を広げ、自分自身の成長に繋げるために頑張りたいと思っています。



杉原 瑠莉 (山内中出身)
デザイン科 平成29年3月卒業
株式会社本田技術研究所
(埼玉県和光市)
デジタルモデラーとして勤務

携わった製品が世に出る喜び

有田工業高校を卒業後、本田技術研究所 デザインセンター オートモービルデザイン開発室でデジタルモデラーとして仕事をしています。CATIAというCADソフトを使って、クレイモデルやスケッチから製品化するためのスタイリングデータ、コンセプトモデルのCGやVRなど、幅広く3Dデータを作成しています。自分が携わったクルマを街中で見かけることが増え、試行錯誤して作った自分の仕事に人の役に立っていると思うと、とても嬉しく、感慨深いです。入社当初は、未経験の職種ということもあり不安でいっぱいでしたが、デザイン科で学んだプロダクトデザインやビジュアルデザインなど、様々な分野の知識が日々の業務でヒントになることが多く、デザイン科での経験に助けられています。



川添 こころ (旭中出身)
デザイン科 平成24年3月卒業
株式会社スパイス
(東京都港区)
デザイナーとして勤務

色んなことにチャレンジできる

有工デザイン科で学んだ後、金沢美術工芸大学の視覚デザインへ進学し、現在はデザイン会社に勤務しながら、書籍など本の表紙のレイアウトやロゴを制作したり配色を考えたりする「装丁デザイナー」という仕事をしています。振り返れば有工で学んだ技術や取得した資格が大学や仕事でたくさん活かされています。また、有工でプレゼンやコンペに挑戦する機会もたくさん頂いたので、大学や仕事でも怖がらずに色んなことにチャレンジすることができています。私は中学生の時からデザインの分野に進みたいという目標があり、有工デザイン科を受験し入学しました。今その時の夢を叶えられて幸せです。



藤井 丹路子 (北方中出身)
デザイン科 平成24年3月卒業
株式会社ノムラメディアス
(東京都港区)
デザイナーとして勤務

空間が出来上がる瞬間は毎回ワクワクします!

有田工業高校を卒業後、福岡デザイン専門学校の立体空間デザインコースでディスプレイデザイン、視覚情報デザインコースのグラフィックデザインの2つの専攻で学び、その後、ディスプレイ会社の株式会社ノムラメディアス(旧社名:株式会社ノムラデュオ)に入社致しました。今は、銀座のショーウィンドウディスプレイや、ポップアップショップ、映画やアニメの衣装展や原画の展覧会、クリスマスツリー装飾など多岐に渡るお仕事をしています。苦労もありますが、自分がデザインした空間やモノが出来上がる瞬間は毎回ワクワクします。学校で学んだことを発揮する場面が多々あり、その度に嬉しく感じています。



吉富 千華子 (啓成中出身)
デザイン科 平成26年3月卒業
株式会社三光
(佐賀県伊万里市)
デザイナーとして勤務

想いをカタチにして伝える仕事

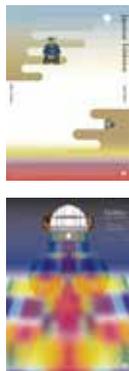
デザインで地元で貢献できる仕事がしたいと思い、株式会社三光に入社し、現在はチラシやポスター、情報誌やカタログなどの制作を行っています。高校時代のビジュアルデザインの授業では、仕事をする上で欠かせない技術を身につけることが出来ました。また、様々な授業を通して得た「デザイン=課題を解決する」という学びが今の仕事である「お客様のお困り事を解決する」ことに繋がっています。自分が制作したものでそのお困り事を解決できた時、やりがいを感じる事ができる仕事です。



中里 光宏 (佐世保市広田中出身)
デザイン科 平成28年3月卒業
唐津市立第五中学校
(佐賀県唐津市)
佐賀県公立学校中学校教諭として勤務

夢実現! 学ぶ側から教える側へ

有工に入ってデザインの幅広さ、おもしろさを知りました。そしてそれらに対し深い知見を持ち、的確に指導して下さった先生方に憧れ、私自身美術教師を志すようになりました。大学では九州産業大学のグラフィックデザインを専攻し、視覚に関わるデザインを4年間勉強しました。それと並行し教員採用試験の勉強を進め、大学の先生方にも助けられながら無事合格できました。これからデザイン・美術を勉強し生徒に教えながら、自分の制作活動も続けていくことが目標です。



中村 裕介 (伊万里中出身)
電気科 平成25年3月卒業
九州電力株式会社
(長崎県平戸市)

手に職を持つ事が充実した人生を創る

高校時代、多くの資格取得にチャレンジすることができ、先生方には授業とは別に補習等で指導して頂いたり、資格取得以外の内容でもわからない事があれば、丁寧に指導して頂きました。現在は住宅等への電気の配線を設計しています。また、家の電気が停まった時に、原因を調査し再度電気が使えるよう工事します。職場は福利厚生が充実しており、休暇取得率も高いため、仕事とプライベートを充実させることができています。同僚の方々とのコミュニケーションも活発で、会話の絶えない職場であり充実した日々を送っています。今後も、生涯勉強を念頭に広い視野を持ち積極的に物事に取り組んでいきたいと思っています。



岩橋 将太 (啓成中出身)
電気科 平成25年3月卒業
関西電力株式会社
(大阪府大阪市)

お客さまに灯りと安心を届けるために

高校時代は資格取得をはじめ、授業以外においてもわからない点があれば個別に指導していただいたこともあり、現業務に必要な電気の知識を習得することができました。現在は電気設備の点検、保守、改修やお客さま申出対応をメインに業務を遂行しています。また、広範囲の停電が起きた際も第一陣として現場へ急行し、不良箇所の改修を行います。停電が復旧した際には、多くのお客さまから「ありがとう」などの感謝の言葉を直接いただくことができ、非常に働きがいのある職場です。職場環境においては有給休暇の消化率も高く、長期の休暇も取得可能であるため旅行や趣味の時間に費やすなど、プライベートもとても充実しています。今後においてもお客さまへ「安全で安定した電気を供給」するために更なる技術力アップを図り、日々向上心をもって何事にも取り組みたいと考えております。



久保田 鎌斗 (西有田中出身)
電気科 平成26年3月卒業
トヨタ自動車株式会社
(愛知県豊田市)

新たな感動や喜びを提供する

高校時代は、生徒思いの先生方に恵まれ、授業や実習で分からない所を最後まで丁寧に教えていただいたり、資格取得に関しても、前向きにサポートをしていただきました。そのおかげで、現在の職場で役に立つ、電気の基礎知識や技能の習得ができ、担当する仕事でもそれらの知識技能を活かす事ができています。私が所属している技能開発部門は、お客様に感動と安心を提供するための、新たなクルマの開発、実験、評価を行う所です。その中で、未来のクルマづくりにおいての電子関係の仕事に携わっております。まだ世の中に無い電子装飾品を構想からカタチにし、お客様に新たな感動や喜びを提供する事のできる、とてもやり甲斐の有る仕事です。



橋口 由佳 (有田中出身)
電気科 平成27年3月卒業
日本製鉄(新日鐵住金株式会社)
八幡製鐵所 (福岡県北九州市)

鉄づくりを影ながら支えるやりがいのある仕事

学生時代の思い出は体育祭や文化祭などの行事です。皆で協力し合って行事を成功させるという事は大変ではありますが、行事が終わってみればさらに皆との仲が深まり、とてもいい思い出になります。電気科ではたくさんの資格を取得できました。現在は製鉄所に勤務しており、鉄づくりをする為に必要なパソコンや電源装置等の電気機器の修理を行っています。鉄づくりとは直接関係ありませんが、自分が修理した機器が鉄づくりを影ながら支えていると思うと、やりがいを感じます。今はまだ、先輩社員からの助言がないとスムーズに修理を行えない状況なので、1日でも早く1人で修理を行えるように頑張っています。



林 良太 (山内中出身)
電気科 平成28年3月卒業
西日本旅客鉄道株式会社
(福岡県那珂川市)

専門的な知識・技能を身に付ける事が出来ました

電気科では、電気に関する基礎知識を学び、電気工事士等の資格を取得すると同時に、企業で即戦力として活躍できる知識・技術を学ぶことができました。部活動等を通してチームワークの重要性や、コミュニケーション能力を身に付けることができました。現在は車両(新幹線)の検査・修繕業務、運用センター機動班では、新幹線の運用中に発生した臨時的な故障の修繕を主に行っています。また、営業中の新幹線で博多総合車両所にて折り返す車両が東京や新大阪まで異常なく営業できるかなどの運転整備を行っています。1日でも早く「新幹線の安全・安定輸送のために欠かせない人材」になりたいと思います。



秀島 圭祐 (武雄中出身)
機械科 平成28年3月卒業
株式会社 中山鉄工所
(佐賀県武雄市)

知識や技術を深め、「できない」を「できる」に

高校時代は、部活動を通してチームワークや努力をして楽しむことの大切さを学ぶことができたこと、また実習の授業で溶接の基本を学んだことは今の仕事につながっており、このふたつのことはとてもよかったと思っています。現在は株式会社中山鉄工所の仙台出張所で勤務していますが、明るく活気のある職場です。現在担当している仕事は、コンクリートやアスファルトを砕く破砕機の修理やメンテナンスで、主にユーザー様へ出張訪問し機械の不具合箇所を修理しています。ユーザーの方と直接お話するため話し方や身なりに気を使っており、初めは電話の対応にも気を使いました。今後は機械の知識や技術を深めて仕事の幅を広げ、「できない」を「できる」に変えていきたいと思ひます。後輩の皆さんは、目標ややりたいことを見つけて悔いのない学校生活を送ってください。



納所 隼人 (有田中出身)
機械科 平成29年3月卒業
(株)クボタ
(大阪府枚方市)

建設機械のスペシャリストを目指して

高校生活では部活動のバスケットボールや友達との学校生活、体育祭、文化祭、30kmマラソン等の沢山のイベントが思い出です。現在は大阪に本社がある(株)クボタの枚方製造所に勤務しています。クボタの会社方針である「人づくりなくしてモノづくりなし」というスローガンの元、入社して1年間は研修センターでみっちりモノづくりの基礎を学びます。その研修の中にも、同期とサマーキャンプに行ったり、富士山登山、2人1組での共同生活を体験したりなどなかなか体験できないことが体験できます。その後建設機械製造部に配属されました。その中でもエンジン組み立てという建設機械(ショベルカー)における心臓部を作っています。今後の目標は会社にとって必要な人材になれるよう何にでも挑戦していきたいです。後輩の皆さんへのアドバイスは、一番大切なのはコミュニケーション能力や良い人間関係を築く能力だと私は思ひます。自分の武器になるよう頑張ってください。



梶原 倅輔 (有田中出身)
機械科 平成25年3月卒業
株式会社 名村造船所
(佐賀県伊万里市)

リーダーを目指して日々一生懸命

高校時代の思い出としてはものづくりの楽しさを学べたこと、また部活動を通して協調性を学べたことです。これらは今の仕事にも通じておりとても良い経験だったと思ひます。現在は株式会社名村造船所で主に船の電気関係の仕事をしており、船内での電装品の取り付けや配線、結線作業、それに溶接の仕事に取り組んでいます。職場はとても明るく活気があります。今後の目標はリーダーになることであり、そのために毎日の業務に一生懸命に取り組んでいるところです。後輩の皆さんも自分の進路について色々迷うこともあるかと思いますが、自分が好きなこと、長く続けられそうな仕事につけるよう頑張ってください。



川久保 大成 (武雄中出身)
機械科 平成28年3月卒業
日産自動車 株式会社
(神奈川県厚木市)

日々の訓練に真摯に取り組む

高校時代の思い出としては野球部で頑張ったこと、そして3年時には生徒会長として様々な学校行事に携わり学校をまとめたことです。現在は日産自動車(株)で技能五輪の選手として毎日訓練に励んでいます。職場は明るく活気があります。技能五輪の職種は自動車板金職種で、平らな鋼板をハンマーで叩き、曲げ、溶接して7時間かけて模型サイズの車の外観を作る競技です。手加工で競技を行うので毎回全く同じものが作れないので一定に上げるために工夫しています。目標は毎年11月下旬に行われる技能五輪で、その目標に向かい自分に負けることなく日々の訓練に取り組んだ結果、第56回技能五輪大会で銀賞をいただくことができました。後輩の皆さんも自分の目標に向かって頑張ってください。



内田 虎之介 (啓成中出身)
機械科 平成31年3月卒業
JFEスチール(株)西日本製鉄所
(岡山県倉敷市)

コミュニケーションの大切さ

高校時代はバレーボール部で頑張りました。有田工業で学んでよかったことは機械の知識、人間関係、リーダーシップの大切さなどです。現在は岡山県にあるJFEスチール(株)西日本製鉄所の倉敷地区で勤務しています。日本を代表する製鉄会社です。会社は分け隔てなく話ができる雰囲気です。鉄鋼の熱延工場に配属され、クレーンでスラブ(一辺10mほどの四角の鉄の塊)を運び仕事をしています。熱延工場には70人ほどの社員がいます。具体的には溶鉱炉から出てきた高熱のスラブをクレーンで持ち上げ、圧延台に運び引き延ばす仕事です。これからの目標は上司や同期の人達から信頼される人になることです。後輩へのメッセージとしては、今のうちから積極的にリーダーシップをとり、コミュニケーション力を高めておくことだと思ひます。また高校生活をしっかり楽しんでください。



石崎 枝李実 (三田川中出身)
セラミック科 令和2年3月卒業
株式会社 香蘭社
(佐賀県西松浦郡有田町)

定時制で学んだことを仕事に活かす

定時制での4年間は、私にとってかけがえのない宝物です。アルバイトと学業の両立で辛い時もありましたが、みんなで助け合うことで乗り切ることが出来ました。実習などの授業ではマンツーマンで丁寧に教えて下さるので、「ものづくり」の楽しさを知ることが出来ました。昼間のアルバイトでは朝から出勤するのは大変でしたが、いち早く社会人になるための勉強ができる場所ですし、職場の先輩方は優しく教えて下さいました。学校とアルバイトで学んだことを活かしたいと思ひ、株式会社香蘭社へ就職しました。現在職場では、転写紙を貼る作業や、窯詰め窯出しの作業をしています。これからまだまだ覚える事がたくさんありますが、先輩や上司の方が優しく丁寧に教えて下さるので、楽しく働くことが出来ています。



横山 主税 (武雄中出身)
セラミック科 平成29年3月卒業
株式会社 中原鉄工所
(佐賀県武雄市)

人生の糧となる

私の高校生活での4年間は、自分の人生の中で糧となったと思ひます。在学中は様々な経験をさせていただき、自分のためとなり、自信となりました。先生方との距離が近く、いつも親身になってご指導いただいたことで、とても密な時間を過ごすことができた4年間だったと思ひます。この学校で学んだことは今の人生で活かされており、自分にとってかけがえのない時間となったことを、先生方に感謝しています。現在、武雄市にある中原鉄工所で勤務し、碎石・リサイクルプラントの溶接、プラント工事など、リサイクルと大きく関わる仕事をしています。モノの大切さ、有難さを身に染みて感じることができ、とても充実した時間を過ごせています。会社に貢献できる人材になれるよう、日々努力しています。



草場 玲緒奈 (北方中出身)
セラミック科 平成31年3月卒業
佐賀県農業協同組合(JAさが)
(佐賀県佐賀市)

有工の4年間

私は現在、農協の経理事務をしています。収支の書類を作り、整理するのが仕事です。この職場を選んだ理由は、労働条件が良かったからです。無理なく、自分のやりたいことができる時間を確保できることを重視しました。職場の人達はとても良い人ばかりで、よく気にかけてもらえます。学生時代は、沢山資格を取りました。何の資格でも取って置いて損は無いです。頑張れたのは、先生方が「草場ならできる」と声をかけ続けてくれたからです。先生方がいつだって期待してくれたから、それに全力で応えた結果で今があります。当時を振り返ると、あの4年間で無駄だったことなどひとつも無かったと分かりました。きっとこれが人生なんだろうと思ひます。だから私は数年後の自分に胸を張れるような、今の自分であり続けたいです。



木下 友梨香 (福富中出身)
デザインコース(現デザイン科)
平成18年3月卒業
アーティスト
(東京都渋谷区)

挑戦できることを学びました

私は今、武蔵野美術大学を卒業して東京でアーティスト活動をしています。それは、有工に在学していたときの目標のひとつでした。特に在学中で印象に残っている事は、先生方に自主的な活動の場を作っていただいた事です。定時制にもかかわらず全日制の美術部の活動に参加させていただいたり、美大の受験の為にデッサンを授業前に教えていただいたり、挑戦したいと思った事をたくさん応援していただきました。美大へ進学してより深くアートやデザインを勉強したいと思えるきっかけをくれた有工での生活は、自分の人生にとってとても大切な3年間だったと思ひます。



中尾 大 (有田中出身)
デザインコース(現デザイン科)
平成19年3月卒業
白羊看板店
(佐賀県西松浦郡有田町)

定時制で学んだこと

昼間に働きながらの学業はとても大変でしたが、多感な時期に早めに社会に出て、違う世代の方々との交流でマナーや礼儀作法などを学べた事はとても貴重な経験になったと思ひます。定時制は1学年1クラスなので先生との距離や友達付き合いもとても居心地がよく、今でもたまに会って近況報告したり出来る大切な人達に出逢えました。現在は高校時代からお世話になっている地元の看板店に就職し、店舗やイベントの広告物のデザイン、制作などを行なっています。これからも高校生活で学んだ事や繋がりを大事に頑張ろうと思ひます。